

地域と学校の 協働通信

令和7年2月4日
武蔵野市教育委員会
指導課教育推進室
第24号

特集

- 新しい「開かれた学校づくり協議会」全校展開に向けて準備中
- モデル校の検証結果
- モデル校の報告

学校運営協議会機能を有する「開かれた学校づくり協議会」

全校展開に向けて準備中

市教育委員会では、学校・家庭・地域など様々な立場から求められる学校の姿を話し合い、その実現に向けて取り組む新しい「開かれた学校づくり協議会」を令和7年度から市立小中学校全校に設置するよう、準備を進めています。

新しい「開かれた学校づくり協議会」には、次のとおり「学校運営協議会」の機能があります。

学校運営協議会機能とは？

法・規則に明示された役割

- ① 校長が作成する学校運営の基本方針の承認
- ② 学校運営に関する意見を教育委員会または校長に述べる
- ③ 教職員任用に関する意見を教育委員会に述べる



令和5年度から2年間、境南小学校と第一中学校がモデル校として取り組み、上記の機能を活用しながらその学校や地域を取り巻くテーマで活発に議論したり、様々な活動に結び付いたりする成果がありました。その様子は、この「地域と学校の協働通信」でもお知らせしてきました。

新しい「開かれた学校づくり協議会」の大きな目的は、「子どもの学び、育ちを支えること」であり、①学校・家庭・地域で主体的に協議できる体制であること、そしてそれが②持続可能であることが期待されています。

モデル校の効果検証アンケートの結果について

モデル校の2年間の変容について、効果検証のためのアンケート調査を行いました。調査の観点と対象者、及び結果の概要は次のとおりです。結果を考察し、今後の全校展開に向けて生かしていきます。

調査の観点

- ①協議会としての主体性
- ②必要に応じた協働
- ③学校の業務改善、多忙化解消
- ④地域への愛着の醸成・安心感

対象者

- ①委員
- ②モデル校学区の地域の方
- ③教員
- ④児童生徒
- ⑤保護者

結果の概要

- 委員の回答・・・協議会の主体性は大きく向上した↑
- 地域の方と教員の回答・・・必要に応じた協働がよりすすんできた↗
- 地域の方・児童生徒の回答・・・地域への愛着の醸成や安心感はやや高まった↗
- 教員の回答・・・学校の業務改善や多忙化解消には大きな変化はなかった→
- 保護者の回答・・・必要に応じた協働、地域の愛着の醸成や安心感につながったか、については大きな変化はなかった→

学校運営協議会機能を有する開かれた学校づくり協議会（モデル校）の報告



第一中学校 第6・7回協議会

第8回は、2月28日（金）
15時30分～（予定）

第6回は、学校評価アンケートの項目検討と、生徒を対象とした「ボランティア活動に関する意識アンケート」の結果を踏まえた協議を行いました。

学校評価アンケートについては、「記名」と「無記名」どちらがよりよいかなど、アンケートの根幹にかかわる議論もあり、学校がよりよくなるために多くの方の率直な意見を求めたいという思いが感じられました。項目についても、抽象的な表現をシンプルに答えやすくなるような工夫などが話し合われました。

また、生徒のボランティアに関するアンケート結果から、「ボランティアに触れたことのない生徒も多いのでは」、「子どもたちが一中フェスタへの恩返しをしたという思いがあり、その機会を作りたい」、「まずは、『見に来てみませんか？』からでもいいのでは」など、今後につながる協議となりました。



第7回は、学校評価アンケート結果を踏まえて協議会としての意見及び次年度の協議会の活動についての方向性などを協議しました。学校評価の結果について副校長先生から説明があり、委員の意見を直接聞きたいとのことで教務主任の先生も参加されました。

全体的に保護者の回答では「わからない」の割合が高く、学校を見て知ってもらう機会が重要では、との意見が上がり、「オープンに保護者に足を運んでもらう機会を作ってみては」という提案もありました。



生徒の回答では、『気軽に先生に相談できるか』という項目から、「先生が忙しそうだから声をかけにくいといった状況があるのでは」との意見があり、生徒の声を反映させる取り組みや学校以外の場所にも生徒の居場所を増やすことができればいいという議論もありました。様々な意見が交わされ、それら

を参考に、次回は校長先生が作成する「学校運営の基本方針の承認」に向けた議論を行います。



境南小学校 第6回協議会

第7回は、2月10日（月）
第8回は、3月10日（月）
18時30分～（予定）

今回は、学校関係者評価における意見について協議する会でした。校長先生から、学校評価アンケートの結果について全体的な説明があり、教務主任の先生も参加しました。

その後の協議では、例えば、8つの重点項目の一つ「主体性を大切にする授業改善」の項目では、次のような意見が出されました。

- ◆子どもたち自身が主体性を高く認識している。保護者とのコミュニケーションが深まればさらに一段階高いレベルに導けるはず。
- ◆ICTについては子どもたちが慣れた段階で達成とみなせばよい。
- ◆教員に向けたICT教育は得意な先生が主体的に進めたり、子どもがどんどん進めたりしているが、ICT（タブレット）の有効活用に向けた取り組みを進めてほしい。



力を入れている校内研究・校内研修については、「今年の校内研究の発展はめざましいものがあつた」、「生活科や総合の活動は境南小の特色としてこれからも進めていくべき」と後押しする意見が出されました。

協議の他、2回目の「地域と6年生との交流会」の開催案内や、事務局から2年間のモデル校としての取り組みを特集する広報誌を作成するとのお話がありました。

次回の協議会では、次年度の学校運営の基本方針について協議する予定です。